【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】令和5年3月23日(2023.3.23)

【公開番号】特開2022-186918(P2022-186918A)
【公開日】令和4年12月15日(2022.12.15)
【年通号数】公開公報(特許)2022-231
【出願番号】特願2022-171249(P2022-171249)
【国際特許分類】
Ｅ０３Ｄ　9/08(2006.01)
Ａ４７Ｋ 13/26(2006.01)
【ＦＩ】
Ｅ０３Ｄ　9/08　　Ａ
Ａ４７Ｋ 13/26

【手続補正書】
【提出日】令和5年3月14日(2023.3.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
前部に形成された便鉢、後部上面の周縁部に設けられた周壁部、および該周壁部の内側に形成され前記周壁部に対して下方に向けて凹んだ凹部、を有する便器本体と、
前記凹部に配され、便座又は便蓋を備えるベース部を支持する前側受け部および後側受け部と、を備え、
前記後側受け部は、前記周壁部よりも内側かつ前記周壁部の上面より下方の前記凹部内で前記便器本体に支持されており、
前記後側受け部は、前記便器本体に支持される平坦部と、該平坦部から立ち上がる方向に延びる起立部と、を備え、
前記起立部は、前記凹部よりも後方の周壁部より上方に位置するように配設され、
前記後側受け部が前記便鉢の上面よりも低い領域に配置されており、かつ、前記ベース部が前記後側受け部と係合され、
前記ベース部が、前記凹部内に配設されていることを特徴とする水洗式便器。
【請求項２】
前記前側受け部が前記便鉢の上面よりも低い領域に配置されており、かつ、前記ベース部が前記前側受け部と係合されている請求項１に記載の水洗式便器。
【請求項３】
前記凹部よりも後方の周壁部は前記便器本体の後壁であり、前記便器本体の後壁より上方において前記起立部を介して前記ベース部が支持されている請求項１または請求項２に記載の水洗式便器。
【請求項４】
前記便器本体の後部上面にカバーを備え、前記カバーは前記後側受け部を覆うように配設されている請求項１または請求項２に記載の水洗式便器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更

【補正の内容】
【０００７】
本発明による水洗式便器は、前部に形成された便鉢、後部上面の周縁部に設けられた周壁部、および該周壁部の内側に形成され前記周壁部に対して下方に向けて凹んだ凹部、を有する便器本体と、前記凹部に配され、便座又は便蓋を備えるベース部を支持する前側受け部および後側受け部と、を備え、前記後側受け部は、前記周壁部よりも内側かつ前記周壁部の上面より下方の前記凹部内で前記便器本体に支持されており、前記後側受け部は、前記便器本体に支持される平坦部と、該平坦部から立ち上がる方向に延びる起立部と、を備え、前記起立部は、前記凹部よりも後方の周壁部より上方に位置するように配設され、前記後側受け部が前記便鉢の上面よりも低い領域に配置されており、かつ、前記ベース部が前記後側受け部と係合され、前記ベース部が、前記凹部内に配設されていることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
また、前記前側受け部が前記便鉢の上面よりも低い領域に配置されており、かつ、前記ベース部が前記前側受け部と係合されていてもよい。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
また、前記凹部よりも後方の周壁部は前記便器本体の後壁であり、前記便器本体の後壁より上方において前記起立部を介して前記ベース部が支持されていてもよい。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
さらに、前記便器本体の後部上面にカバーを備え、前記カバーは前記後側受け部を覆うように配設されていてもよい。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】